

びぶりお定期便

今年度もあと2ヶ月程になりましたね。皆さんいかがお過ごしですか？最近インフルエンザが流行ってきているようです。しっかりと予防して、元気に終業式を迎えてください。

今年度のびぶりお定期便はこれで最終です。来年度4・5月号でまたお会いしましょう。

今月のおすすめ びぶりお本

恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 1月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
日大式で差がつく!陸上競技跳躍種目トレーニング	森長正樹/監修	メイツ出版	782.4/メ/
真夜中の電話	赤川次郎/著	汐文社	K913/7/
天帝のみはるかす桜火	古野まほろ/著	講談社	913.6/7/

『帰宅部ボーイズ』 はらだみずき/著
幻冬舎 913.6/ハ ジュニアコーナー

帰宅部にだって青春はある!
帰宅部と青春というワードはあまり繋がりがなく感じられますが、青春というのは人それぞれ。周りに馴染めずに部活を辞め、帰宅部となった主人公とその仲間たちの日々をいかに面白く生きるかという笑いあり、涙ありの新しい青春小説です。そのときは無駄だと思っていたことも振り返ってみれば大切な時間だった、そう気付かせてくれる一冊です。

今月のイチオシ!

恵那特別支援学校

1月15日(月)~26日(金)まで「書き初め展」を行いました。「一生懸命」や「日進月歩」「漢検合格」等、今年の目標が、力強い字で書かれた「書き初め」がたくさんありました。様々な思いを込めた目標が並びました。学習やスポーツ、進路等、それぞれの目標に向かってチャレンジして行ってほしいと思います。

2月1日(木)には中学部作業作品の販売体験、2日(金)、3日(土)には高等部作業製品の販売を予定しています。1日、2日は岩村町のざらりー立花屋と清和堂、3日はハロービットタウン店で行いますので、是非お越しください。

『マンガでわかる 仕事の敬語』
本郷 陽二 著 (日経BP社)

社会人になると円滑に仕事を進めていく上できちんとした敬語が必要になります。自分の言葉遣いは正しいでしょうか？この本は様々なシーンを想定し、仕事をするときに必要な敬語の使い方を教えてくれます。マンガを交えて分かりやすく教えてくれるので、普段あまり本を読まない人でも読みやすくなっています。これから新社会人となる人、まだ働き始めたばかりの人、アルバイトをしている人などに是非読んでもらいたい本です!

恵那高等学校

まだまだ寒い日が続きますが、皆さん体調は大丈夫ですか。インフルエンザに負けていませんか。早いものでもうすぐ卒業の季節ですね。今年度もあと少しで終わってしまいますが、「このクラスで良かった!」と思えるよう残りの学校生活を楽しく元気に過ごしていきたいでしょう。

ここで私のおすすめの本を紹介いたします。私のおすすめの本は『日本人の知らない日本語』です。日本人がすぐに答えられないような外国人の疑問を面白おかしく紹介しています。例えば「醤油を入れる四角くて仕切りのある皿の名前は?」「スッパ抜くのスッパとは何ですか」など…。私たち日本人があまり気に留めない当たり前のことも、日本語を勉強する外国人の目を通して見れば、何か新しい発見があるかもしれません。ぜひ読んでみてください!

日本人の知らない日本語
蛇蔵/著 海野凧子/著
KADOKAWA

恵那農業高等学校

今年になって、本格的な冬の寒さにみまわれましたが、皆さんには影響はありませんでしたか? 本校でもグラウンドが一面雪に覆われました。風邪やインフルエンザにかからないよう、体調管理には十分気を付けて、全員元気で学校生活を送ってほしいと思います。

オススメの一冊

『豆の上で眠る』 湊かなえ 著

私がお勧めする本は湊かなえさんの「豆の上で眠る」です。これは妹の結衣子と姉の万佑子、二人の物語です。結衣子が小学校一年生の時、万佑子が行方不明になりました。その2年後、姉を名乗る見知らぬ少女が帰ってきます。その少女は誰なのか、大学生になった今も違和感を抱き続けている。本物とは何なのか。家族とは何なのか。考えさせられる衝撃の姉妹ミステリーです。

私はこの本を読んで、人は信頼関係により成り立つものだと改めて感じました。家族や友達を大切にしていきたいと思わせてくれる作品です。皆さんもぜひ手に取って読んでみてください。

食品科学科 2年 図書委員

恵那南高等学校

1月31日の午後から明智町のかえでホールで恵那南高等学校「産社・総合学習発表会」を行いました。この発表会は学校で取り組んでいる魅力化プロジェクトなどの報告と、1年次生は「産業社会と人間」を通して学び考えたキャリアデザインについて、2年次生は「総合的な学習の時間」で行ったインターンシップについて、3年次生は卒業研究を発表します。それぞれが今の自分を見つめ、将来のあるべき自分の姿を思い浮かべて作られており、とても聞き応えのあるものでした。

『さあ、才能(じぶん)に目覚めよう』
著者: ドナルド・O. クリフトン・マーカス・バッキングム

この本では、ストレンクスファインダーと呼ばれる180のテストをすることで、34個ある「強みとなりうる資質」のうち5つの才能一すなわち世界に通用する強みが築ける最も可能性の高い分野を見つけることができます。

自分の強みを理解することで将来のあるべき自分の姿が見つけられるかもしれません。